

## 2020年度 フィールドスタディ (FS) 実施企画

授業コード： AA0180

テーマ タイトル	身近な「文化的景観」の価値を再発見する
担当者	梶 裕史
実施時期	2020年10月下旬～2021年3月の授業実施期間以外（日帰り3回以上）
実施場所	自宅（・実家）から日帰り圏内
協力機関	特に指定なし
募集人員	約15～20名
学習目的	「環境表象論Ⅰ」で話した「文化的景観」について、自分の育った場所や近隣などから具体的な事例を探し、日帰りでゆっくり歩いて「実地調査」することにより、価値を再発見または新たに発掘してもらいます。原則、「日帰り一人旅」です。具体的なテーマの例はつぎにあげます。
行 程 (テーマ例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(東京の場合)江戸の都市計画と富士山 - 富士がみえる景観の今昔</li> <li>・富士塚(富士講)、庭園と自然描写など-「見立て」の精神文化の史跡</li> <li>・フィルムツーリズム 「聖地巡礼」の場所のとりくみの実例</li> <li>・(里山的性格を残す)公園とその利活用のとりくみ</li> <li>・身近な「里海」とその保全活動</li> <li>・身近にある重伝建地区のまちづくり</li> <li>・近隣で行われているエコツーリズム、グリーンツーリズムに関わるプログラム ("エコツアー""農"の体験"五感尊重の環境教育プログラム"etc.)</li> <li>等々、「環境表象論Ⅰ」で紹介したものは全てテーマになり得ます。</li> </ul>
費用	日帰りで、現地では「歩く」ことが主体です。あとは目的地への交通費、博物館・資料館等がある場合はその入館料等、各自で計画してください。
選考基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梶の環境表象論Ⅰを履修済の人に限ります。</li> <li>・応募者が多数の場合は志望票の内容で選考を行います。</li> <li>・志望票(←学習支援システムからダウンロード)には、上記のテーマ例を参考に、自分で取り組みたいテーマ・題材・場所について具体的に記して、9月25日までに提出してください。なお、自分が初めて訪ねる場所を選ぶ場合は、下見をすることが望ましいです。</li> <li>・発表は10月5日の予定です。</li> </ul>
事前・事後 学習の予定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事前講義 10月中旬に1～2度実施予定</li> <li>2 中間報告 12月、2月と計2回実施予定(途中経過報告)</li> <li>◎ 事後講義 3月下旬に実施予定(成果のまとめ、100分×2)</li> </ol> <p>※全て Zoom で行い、平日または土曜日の夕方から夜に設定します。具体的な日時は追って学習支援システムにてお知らせします。</p>
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本コースは新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止または時期・内容を変更する可能性があります。</li> <li>(2) 中止となった場合は、下記の代替措置によって相当する学習をおこない、単位を取得することができます。</li> <li>(3) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。中止となった場合でも費用負担をしてもらう場合があります。</li> </ol>

中止の場合の 代替措置	課題レポート。内容は事前講義で今のところの構想をお伝えします。
評価方法	中間報告、事後講義の発表とレポート